



ブドウ [葡萄]

落葉／つる類／木本植物／外来種・栽培品種



科名 ブドウ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い
草本扱い (保証の観点より)

カキやウメに次いで家庭で楽しめる果樹。主な品種に、欧州種や米国種、欧米雑種があり、高温多湿になる日本では主に欧米雑種が栽培されている。収穫目的の場合、花後2週間ほどしたら摘果するほか、病虫害が多く管理に手間がかかる。比較的育てやすいのは小粒の品種。



Memo

デラウェアは、自家受粉するため1本で結実し、日本の高温多湿の気候で育てやすいお薦めの品種。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期						■							
果 実									■	■	■		
紅 葉													
施 肥		■	■			■			■	■			
剪 定		■	■		★★		■						■

★：花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)

好みの環境			
日当り	陽	○	陰
土 壤	乾	○	湿
寒 さ	強	○	弱
暑 さ	強	○	弱
潮 風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
						○	○

ポイント

仕立て方は棚仕立て、垣根仕立てなどが向く。新梢に花芽がつき、翌年に開花結実する。夏場の水切れに充分注意する。剪定するときは、切り口から枯れやすいため、芽と芽の中間で切るとよい。

剪定

充実した果実を収穫するには、摘房は1枝に1房を目安に残す。巨峰など大粒品種は1房30粒、デラウェアは100粒、それ以外の品種は70粒程度を目安に残し、袋かけを施すとよい。

病虫害

病害は、新梢や花などに黒褐色の斑点が出る「黒とう病」、果実が腐る「晚腐病」。虫害は、葉、茎、花を食害する「コガネムシ」や新梢を食害する「ブドウスカシバ」「ブドウトラカミキリ」など。